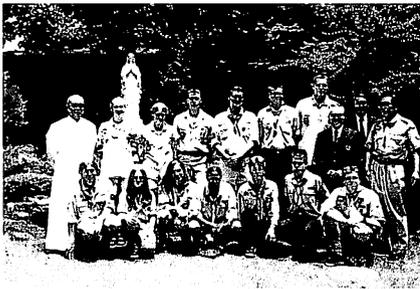


南武蔵野地区監査 岩崎 健三



### 【スカウトにまねかれたのは】

1947年1月カトリック吉祥寺教会のライツ神父がスカウト運動をはじめにあたりまねかれました。東連初登録（1949.4.29）のほぼ2年前です。1932.11.11生まれですから初期登録は17才でした。



ドイツ訪日スカウト団と森山神父、当団スタッフ  
吉祥寺教会

### 【記憶にのこるイベント】

1. 日本連盟・東京連盟・地区  
○第11回日本ジャンボリー 1956.8 軽井沢  
○武蔵野地区 35周年キャンボリー 2001.8 ハヶ岳農場
2. カトリックスカウト協議会（JCCS、元CBS）  
○第1回CBSキャンボリー 1964.8 菅平
3. 団  
○フランシスコ・ザビエル400年祭 1949.5 神宮外苑  
○カール・ライツ神父のふるさと団との交流  
1989年から5年ごとに来日、訪独 継続中  
○BS武蔵野第1団リーダーがライツ神父のふるさと団訪問  
神父さんの親族とも面会 1995.8

このほか楽しい思い出がたくさんあります。

### 【私のスカウト経歴】

現在、団委員でBS武蔵野第1団スカウトクラブ会長  
原隊ではBS副長、CS隊長、RS隊長、団委員、団委員長を  
歴任

地区では西部地区会計、武蔵野地区養成委員長  
南武蔵野地区監査 (現トレーニグ委員長)



## ボーイスカウト 日本連盟創立 90周年

スカウティングで素晴らしい人生を  
SCOUTING, value for life!

創立90周年を迎えられお祝い申し上げます。このうち65年間スカウトとして活動させていただき感謝しています。

### 【初期ミーティング】

スカウトの集会にあたり、はじめに神父さんから、スカウトの“ちかい”“おきて”について教会の教えと関連づけて話されました。ここでスカウトの心構えを教わりました。つづいて隊長から進歩、進級、技能章などをおりこんだプログラムについて説明があったので、班に分かれて活動しました。はじめて登録した頃は4班32名くらいだったと思います。班活動終了後、再び隊集会となり隊長からの連絡事項などをつたえて閉会のセレモニーとなります。閉会のソングは Day is done でした。

Day is done, Gone the sun,  
From the lake, From the hills,  
From the sky, All is well,  
Safely rest, God is nigh.  
(nighはnearの古語 近いの意味)



武蔵野地区35周年キャンボリー 2001.8 ハヶ岳農場

### 【悲しかったこと】

1959年12月28日 創立者カール・ライツ神父がなくなりました。当時私は27才でした。先輩・同僚のリーダーは各地に転動していらしたのでリーダーでは私は年長でした。指導司祭の山口次雄神父と考えたことは、子供たちの悲しみをやわらげることでした。1960年6月 追悼誌「永遠のスカウト」をBS隊長の竹田光男さんと編集しました。

### 【スカウトと共に】

スカウト活動に招かれ今日までこられたのは私にとってたいへん幸福でした。日常生活での喜び、楽しさ、仕事のうえでのリーダーシップ、信頼関係、人間関係、機転ある行動スカウト技術の応用など数えあげればキリがありません。人生での幸福はときにいてくださる神に支えられB.P.の言われるようにスカウト活動によって得られるものと確信しています。



白柳樞機卿と津守氏と新年祝賀会  
カテドラル

# スカウトたちの絆と挑戦

みんなでつなぐ

## 90周年きずなウォーキング

ボーイスカウト日本連盟90周年を機に、スカウトたちの健康と体力の増進を目的として「きずなウォーキング」が行われています。みんなが歩いた距離をつなぎ合わせて、計90万km達成を目指します。



調布第3団 966km

BVS 141km

- ・景信山ハイキング 35km
- ・多摩川でストーンペインティング 14km
- ・調布の野菜探索 36km
- ・夏季の団合同舎営 16km
- ・大菩薩嶺ハイキング 40km

CS 669km

- ・石老山歓迎ハイキング 136km
- ・ゴールデンバー相模湖休養村キャンプ 15km
- ・景信～城山～高尾清掃ハイク 180km
- ・雨でも出来るハイキング 149km
- ・夏季舎営の山登り(笹子雁が腹摺山) 153km
- ・夏季舎営の沢登り 36km

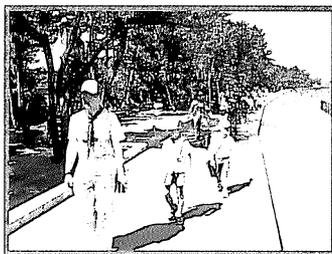
RS 156km

- ・ローバー100キロハイクトレーニング



BS隊

BVS隊



BVS 408km

- ・デイキャンプ 2km
- 最寄駅～府中の森公園
- 公園内にてポイントラリー

CS 1798km

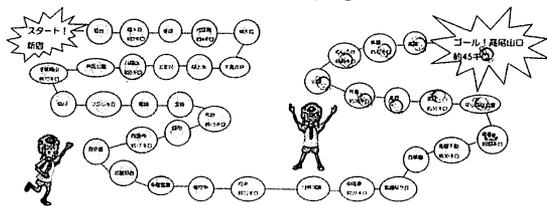
- ・ナイトハイク 705km
- ・ハイキング 328km
- ・釣り 84km
- ・マジックショー 129km
- ・田植え 40km
- ・予備キャンプ 108km
- ・伊勢キャンプ 210km
- ・クマノミナイト 112km

BS 315km

- ・夏季ハイキング
- 相模湖休養村から班別で顕鏡寺、石老山、大明神山を経て、キャンプサイトへ帰着

府中第1団 2521km

CS隊



京王線の新宿から高尾山口までのカードを作りどのくらい歩いたか各自、わかるようにしています。

三鷹第2団 122km



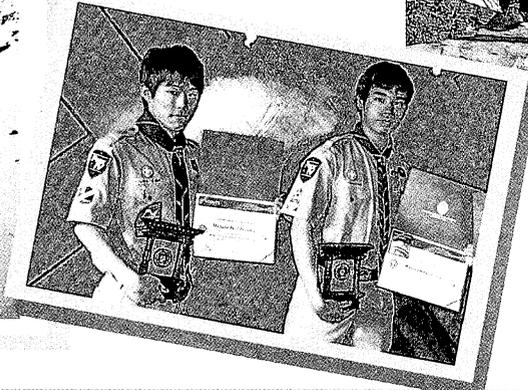
BVS 10km

- ・夏季デイキャンプ
- CS 112km
- ・夏季舎営委員会

# 日本人の **ペーデン パウエル** 初登頂

スカウト ピーク

(Baden-Powell Scout Peak 5718m)



## Baden-Powell Scout Peak登山隊2012 ローバースカウト ヒマラヤを登る！ 登山隊 隊長 長島昌木(小金井第1団RS隊)

### ・ヒマラヤに憧れて

「第3の極地」と呼ばれるヒマラヤ山脈は、今もたくさんの未知を秘めています。ベンチャーの時から未知の探求に情熱を注いできた私は「ヒマラヤにB-Pの名前を冠した山がある。」と聞いて、ゾクゾクとする感動を覚えました。私はすぐにBaden-Powell Scout Peakの登頂を決意し、計画を開始しました。

### ・標高6,000mの世界

日本での登山とヒマラヤ登山の決定的な違いは標高にあります。6,000m近いB-P Peak山頂では平地の半分ほどしか酸素がありません。体力には自信がありましたし、体は疲れていないのですが、息が上がってしまって歩けなくなるという初めての経験をしました。10歩ごとに一息入れながら、ゆっくりと慎重に登っていきました。

### ・B-P Peak登頂!

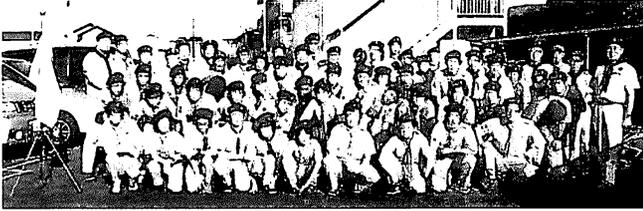
2012年3月2日、私は日本人として初めてB-P Peakの頂を征服しました。登頂した瞬間、延々と続いているかと思われた氷河の斜面が無くなり、見渡す限りのヒマラヤの山々が目の前に広がりました。地平線の彼方まで延々と岩と氷河の山が続いています。日本の山には無いダイナミックなスケールに圧倒され、人間がちっぽけであることをあらためて思い知らされました。もう登らなくていいという開放感、それにパートナーの海老澤さんが途中リタイアとなってしまった悔しさもあってか、感動と同時に自然と涙がこぼれました。

### ・スカウトの頂点

ビーバーから入隊した私は、皆さんと同様、スカウト活動を通じて様々な技能の獲得や経験をしてきましたが、冒険や探検、遠征の魅力を知ることができたことが、何よりもかけがえのないことです。今回の遠征を通じて、あらためてそれを確信しました。ローバーは自由です。自由だからこそ受け身の態度ではなく、自分のやりたいことを自分で計画し、苦難を乗り越えて実現する存在であってほしいと思います。それは、道のないところに道をつくって進んでいくスカウトの生き方そのものです。スカウトの皆さん、夢や目標を持ってローバーに上進して来て下さい。今までの経験を活かして最もアクティブに、ワクワクする活動ができるのは間違いなく、スカウトの頂点であるローバースカウトです。



## 平成23年度ベンチャースカウト50kmオーバーナイトハイク



参加人数：38名  
完歩人数：21名  
完歩率：55%



坂本 遥峰君 (狛江第11団)

BS隊のときの30kmは何度か歩いたことはありましたが、今回の50kmは初参加でした。南武蔵野地区の地域の景色は今まで行ったことのない場所も多く、新鮮でした。今回一番良かったと思えることは、他の団のスカウトと友達になれて、いろいろ話せたことです。最も辛かったハイクでもあり、最も思い出に残るハイクでした。

1	8:17	狛1	坂本 遥峰
2	8:32	調3	奥井 慎太郎
3	8:41	調3	吉田 亮
4	9:35	国1	中村 優介
5	9:40	調3	中村 祐太
6	9:43	調3	狩野 諒
7	9:45	国1	田邊 知之
8	9:50	調6	木本 舜
9	9:58	調3	藤本 隼太
10	10:05	小1	嘉藤 泰斗
11	10:07	国1	真柄 勇徳
12	10:12	府2	小暮 健吾
13	10:59	調10	横田 隼郁
14	10:59	府6	大門 真悟
15	11:00	府1	西田 貴俊
16	11:01	狛5	中川 涼太
17	11:01	調3	山田 和哉
18	11:05	狛5	小山田 駿
19	11:12	国1	細谷 士門
20	12:01	小1	秋保 雄希
21	12:05	小1	青柳 雄二



## 第45回 ローバースカウト100kmハイク



小1	嘉藤 桂樹	22時間26分
府1	西田 尚央	23時間33分
三5	栗山 嘉透	CP3リタイア
三5	奥田 隆志	CP3リタイア
三5	神山友香理	CP3リタイア
小1	有馬 広大	CP5リタイア
調3	奥井公太郎	CP6リタイア

## 第45回100kmハイク完歩おめでとう

嘉藤桂樹君 (小金井第11団)

自分は、ローバーになったら100kmハイクに参加しようと考えていた。不十分であるが、体力づくりなど準備をし参加した。けれども、当日の雨も影響し、100kmは長く、苦しく感じた。そんな中、CPスタッフの方々、所属団のリーダーや仲間にも励まされ、完歩することができた。お世話になった人たちに向けて弥栄。



西田尚央君 (府中第11団)

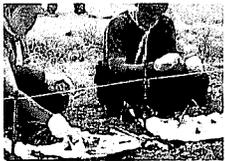


私の100kmハイクは雨という悪条件の中で始まりましたが、50kmまでは順調に歩けました。しかしその後、足が蒸れて水腫れになり、少し歩いただけで痛みが走りました。何度も挫けそうになりましたが「完歩する」という強い意志でなんとか時間ギリギリで歩ききることができました。これから挑戦するスカウトの皆さん。諦めない心で完歩に向かって頑張ってください。

## 僕の団の名物スカウト達を紹介します

### 小金井第4団

### 共に認め合う良いライバル!!



夏キャンプ中の火起こしゲーム

当団在籍のスカウトは皆自慢のスカウト達ですがとりわけ自慢なスカウトはボーイ隊の櫻井謙志郎君と寒河江義勝君です。両名とも現在中学3年生ですが、櫻井君は就職前にはスカウトハンドブックに目を通してから休み寒河江君は90%以上の集会出席率を保っています。共に相手を認め合い良いライバルでもあり大親友でもあります。



右が櫻井謙志郎君 左が寒河江義勝君 (ハイキングにて)

彼らの普段の努力が実り固として実に23年振りに櫻井君が3月に寒河江君が7月にそれぞれスカウトに上進しました。これからも真摯にスカウト道を歩み、後輩指導にあたる姿を心待ちにしています。

### 三鷹第5団

### 三鷹5団の名物スカウト!



左が神山和也、右が奥泉琳太郎

我が三鷹5団の名物スカウトと言えば、この二人!ベンチャースカウト隊の奥泉君と神山君です!

二人は小学校からの幼馴染で、この9月に上進したばかりの団最年長先輩スカウト。

常に自己研鑽に励む二人は後輩スカウトにも慕われ、憧れの存在にもなっています。

これからも良きライバルとして互いに切磋琢磨し富士スカウトを目指しながら、後輩スカウト達を引っ張って行ってほしいものです。



団をあげて二人を応援しています! 左が神山和也、右が奥泉琳太郎

### 調布第2団

### 負けず嫌いの良きライバル



2級スカウトのH. K君とK. M君は同じ年で負けず嫌いの良きライバル。写真は今年の夏のキャンプで行った自作弓矢によるアーチェリー大会では先制的中させたH. K君に、K. M君も負けじと追いついたところ。普段のキャン

プ生活でも、拾って来る薪の量や食器洗いのスピード、はたまたキャンプファイヤーでのスタンプ「あっち向いてホイ」でも火花を散らす。これからも切磋琢磨出来る良きライバルでいて下さい。



### 府中第2団

### 名物は元気印のビーバーくん!!



KMくんは、木の葉巻を205枚、小枝草を20本も持っているベテランです。UWくんは、気は優しく力持ち、年下の子のめんどうをよく見てくれます。MSnくんは、段ボールで二階建てのビーバーハウスを作った「名建築家」。TMくんは、絵が得意、季節の様子を描いたすてきなカレンダーを作りました。MShくんは、最年少でも、がんばりや、木の葉巻もたくさん持っています。

写真は、「ヒト科」のビーバーです。

### 【お悔やみ】



当地区広報委員長舟木 哲 (ふなきあきら) 氏におかれましては、去る8月29日に永眠されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。